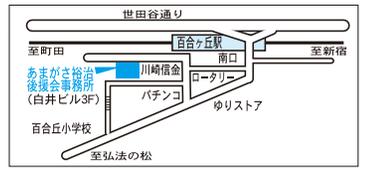




発行所/みらい川崎市議会議員団事務局  
 〒210-8577  
 川崎市川崎区宮本町1番地 川崎市役所第二庁舎内  
 TEL:044-200-3355 FAX:044-245-4135

百合丘事務所 〒215-0011  
 川崎市麻生区百合丘1-20-7 白井ビル3F  
 小田急線百合ヶ丘駅下車徒歩1分  
 TEL・FAX:044-955-2417  
 メール: amagasa@khaki.plala.or.jp



ホームページ: <http://www.e-amagasa.net> Facebook、ツイッターでも情報発信しています。

# 市営地下鉄3号線延伸の開通促進を! 開業年次を一番早くして工費も安くする工夫とは!

## 横浜市営地下鉄3号線の延伸についての不都合な課題

本年8月に4回の市民向け説明会が開催され、その後ルート中間駅に対する市民意見の募集が行われ9月から10月にかけて261通の意見が寄せられました。私も30年間にわたり先頭にたつて延伸の実現を訴えてきました議員として、今後も開業に向けて進むことが最優先と位置づけ促進に向けて努力します。

しかしながら今回の延伸事業の進め方には様々な課題が散見されており、市民の皆様からも厳しい意見が寄せられています。

「川崎市も約210億円にも及ぶ大きな支出を伴う事業なのに、市民の意向も反映しないで優位性ルートを示したこと」「想定されている3つの中間駅周辺の将来のまちづくりの視点が欠如している。しっかりと示して判断すべき」「開業促進に関係する民地の下を極力さける工事の簡易性に対する配慮が示されていない」「中央ルートバス路線と本数が間違っているので公平公正な資料になっていない」「想定された開業年次が一番早く工費も安くなるルートにすべき」

## 大規模事業には多くの市民の理解と協力が不可欠

これらの市民からの疑問や不満の原因はなんといつても1度も市民に説明もなく、市民の意見を聞かない中で突然3ルートのうち1ルートの優位性を行政の見解として示してしまったことにつきます。加えて想定されるルート案の現況も把握していないことも明らかなのです。

今回、市民意見の募集の結果を受けて、本市の基本的な考え方が11月21日(木)に開催されたまちづくり委員会において説明がなされました。

これまで再三にわたり私が指摘してきました中央ルートのバス便の間違ひは、3方面/100本から7方面/400本へと正確なデータへと訂正されました。

こんにち行政の行う事業において市民に理解され協力いただくには、ボトムアップの意見の積み上げが当然のことですが、本市はこれを間違えたのです。

## 延伸区間6キロを早期実現するための最重要課題

市民の皆様から「用地取得が容易な民地の下を極力通らないルートとすべき」との意見が多く寄せられています。

これに対して川崎市は「3案いずれのルートにおいても民地を通る可能性はあり権利設定にご理解いただきながら事業を進めていく。ルート選定においては用地取得の容易性は評価項目とするものではないと考えている」としました。

これまでに私は一日でも早く開通させるには、用地取得が少ないルートをイメージして望むことが不可欠であることを主張し続けて参りました。

交通政策審議会での横浜市営地下鉄3号線延伸に対する答申が示される段階で、私は国土交通省の鉄道課長からヒアリングを受けました。その際に「事業を早期に進めていくためには民地の下をなるべく避けたルートの選定は重要な事項であり、これを踏まえて計画しなければ反対運動にもつながる可能性もあり、何年もの遅れにつながりますので注意してください。」と言われました。

今思えばこんなことは改めて言うことではないが、大前提として考慮しておかなければならない基本中の基本だという話であったのだと思います。

そこで代表質問において「本市はルート選定において用地取得の容易性は評価項目とするものではないとしましたが、ルート選定の大前提として現地をよく調査のうえ、民地の下を極力避ける視点を持つように改めるべき」と質問しました。

市からは「事業の着実な推進に向けて権利設定の容易性は重要と認識する」との見解に改められました。



※駅の場所を特定するものではありません



## 今年度中にルート決定! 川崎市の説明に対して 皆様のご意見を!



川崎市議会議員  
**あまがさゆうじ**

### ご意見をお聞かせください

- 【設問1】 川崎市も200億円を超える負担をします。中間新駅周辺にまちづくりの視点をもつべき  
 ① そう思う      ② そう思わない
- 【設問2】 中間駅の決定に重要だと思う項目に○をつけてください。(複数回答可)  
 ① 従来のバス路線の本数や先行の数  
 ② 用地取得がしやすいルートであること  
 ③ 周辺の将来のまちづくりの計画  
 ④ 周辺に公共用地がこと  
 ⑤ 利用者が多く見込めること
- 【設問3】 中間駅の決め方について望ましい方はどちらだと思いますか?  
 ① 駅位置を決めてから、周辺のまちづくりを考える  
 ② 中間駅周辺のまちづくりの可能性を検討してから、駅位置を決める
- 【設問4】 開業を遅らせないためのルートはどちらだと思いますか?  
 ① ルートを選定してから、用地取得について権利設定を進める  
 ② 用地取得しやすさを検討してから、ルートを選定する

【ご意見】  
 [ ]

お住まいは? 麻生区 ・ 丁目

※居住地ごとに集計の上、川崎市に提出しますので必ず町番を御記入下さい